

技術ノート KGTN 2012091202

現象

[GGH4.X] リモートデスクトップ接続 (**mstsc.exe**) をアプリケーションとして登録し, それを iPad や Android クライアントから利用すると, 接続先のデスクトップでキーボード入力が上手く動作しない.

説明

iPad や Android クライアントはローカルの IME を利用するため, GG サーバ側から見ると通常のキー操作として認識されません (スキャンコードや仮想キーコードに紐付かない). 通常のアプリケーションはこの仕様で問題ありませんが, リモートデスクトップ接続ではキーボード入力が動作しないという状況が発生します.

この問題を回避するには, 先ず Windows のスクリーンキーボード (**osk.exe**) を GG サーバ上で起動し, その後リモートデスクトップ接続を行って下さい. スクリーンキーボードを操作することで, 接続先のデスクトップでキーボード操作が可能になります.

補足1

技術的背景: iPad --(GG Clinet) -- GG-Server --(mstsc) -- Windows Server という環境で iPad 上で文字を入力した場合, 入力した文字は UNICODE (キーコードは Packet) で送信されます. GG-Server/mstsc は, この文字の情報を ローカルで処理することなく Windows Server へ転送するため, Windows Server 上で動作するアプリケーションに入力した文字列が反映されます. RETURN および BS キーは, (Packet でなく) 通常のキーコードで送信され, これが GG-Server 上で処理されます. このため, Windows Server 上で動作するアプリケーションに入力が反映されない状況が発生します. なお, この結果 (GraphOn 社に報告済み) は弊社の検証環境で確認出来た内容であり, 環境が異なれば別の結果になる可能性があります.

補足2

この問題を GraphOn 社の品質保証チームが確認しました. 開発チームで詳細な調査および解析を行い, 技術的・営業的に可能な内容であれば修正を行います.